



小中学校の校歌 卒業生が音源録音

共育にゆーす

新型コロナウイルス感染症対策で、式典等で校歌を歌う機会がなくなっていたことを受け、校歌を録音した音源が作成できないかと、中学校からコーディネーターの本間に相談があったのが3月。町内在住の作編曲家の平間峻さん、美海さんに依頼し、校歌音源づくりがはじまりました。歌の得意な卒業生に歌ってもらえたら最高だねというアイデアから、柘田ともみさん、田上圭太さん、甫木はるかさん、橋詰千恵さん、金子智也さんの5名に快諾を頂き、録音に協力していただきました。公民館の和室を簡易の音楽スタジオとして使い、お一人ずつの歌声を収録させていただきました。その後、コンピューターで5人の歌声を編集して完成です。

中学校に加え小中学校の校歌も同様に作成、中学校では終業式の7月28日に完成した校歌の音源が全校生徒にお披露目されました。収録に参加した田上さんからは、「僕たちの通っていた学校の校歌はこんなにもかっこよかったんですね」と話していました。



▲左から 作編曲家の平間美海さん 峻さん
右から 田上圭太さん 金子智也さん



▲レコーディング中の柘田ともみさん



▲校歌編集中のパソコン画面
コンピューター上で様々な編集作業を行う



校歌はこちらのQRコードから
聞くことができます。

下川商業高2年 ビジネスプランづくり授業

7月15、19、20日、下川商業高校2年生を対象に、NPO法人森の生活が森林環境教育の一環と、商品開発科目の授業として、ビジネスプランづくりの授業を行いました。ビジネスプランは、自分の好きなこと、日常もつとよくなったらいなと思うこと、下川の資源についてたくさん素材を出し、組み合わせで発想していきます。地域経済循環やSDGsの観点も学び、町内で家具の修理や木の小物を販売する「森のキッチン」の河野さん、企業のコンサルティング会社「ブルドットグリーン」の八林さんのお話を聞き、視点を広げました。2日目はビジネスプランの収支計画を立て、3日目は9グループからの発表と模擬投資を行いました。

1 ビジネスアイデアを ストーリーとしてまとめる



いろんなアイデアが出てきて面白かったです。今回の考えが実現で来たら下川の良さが広まると思いました。

2 収支計画を立てる



利益をどうやってだすのか、人は何を必要としているのか真剣に考えたのが初めてだったので、将来に役立つ体験ができたなと思った。

3 ビジネスプランを発表する



順位	ビジネスアイデア	総資金調達額
1位	駆除された 鹿ーベットの	¥11,000,000
2位	道の駅しもかわ	¥8,000,000
3位	森のおみせ	¥14,000,000
4位	空き店舗でライブハウス	¥2,000,000
5位	ずっと、あほ毛なおし	¥23,000,000
6位	キッチンカーでスイーツを	¥4,000,000
7位	現業通産専門店 グッバイ社会	¥5,000,000
8位	五ーメン	¥54,000,000
9位	商業食材利用カフェ Disposal Café	¥39,000,000

生徒の感想

起業するのがどれだけ大変か味わえた

たのしもクラブ 2021 夏

11講座にのべ74人が参加しました。

各プログラムの様子はQRコードより、「下川町公式note」にてご覧いただけます。➡



■お問い合わせ
教育委員会 ☎4-2511内線516 ☆4-251111